



TITLE:

「工学部等文献収集講座 - 工学部
情報をgetしよう!」について

AUTHOR(S):

由本, 慶子; 江上, 敏哲; 慈道, 佐代子

CITATION:

由本, 慶子 ...[et al]. 「工学部等文献収集講座 - 工学部情報をgetしよう!」について. 静脩 2000, 36(4): 24-26

ISSUE DATE:

2000-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37569>

RIGHT:

印象的でした。

そして特に個人的に嬉しかったのは、普段あまり接することのない経済学部図書室の職員の方々と御一緒できたことでした。特に整理掛の皆さんとはいつもは本を間に挟んで「顔の見えない」関係でしたので、そのような方々とお話することができたのは楽しかったです。

今回の展示会をお手伝いすることで感化させ

られることが多く、貴重な文献が多くあることと共に、そのような環境の中で研究ができることのすばらしさを再認識しました。このような機会を与えてくださった田中秀夫先生、図書室の関係者の方々、来場者の皆さんに御礼申し上げます。

(経済学研究科修士課程：川名雄一郎)

「工学部等文献収集講座 工学情報をgetしよう！」について

企画メンバー

由本慶子・江上敏哲・慈道佐代子

1. 工学部等文献収集講座とは

平成11年10月5日、12日午後、2回にわたり工学部等図書事務連絡会議主催の「工学部等文献収集講座 工学情報をgetしよう！」(以下get講座)が開催された。工学部・情報学研究科・エネルギー科学研究科の各図書室職員は、工学部等図書事務連絡会議を毎月1回程度開催し業務に関する連絡や調整等を行っているが、昨年の3月に行われた会議上でこの講座の提案がなされ、その後工学部等図書職員一同が開催に向けて準備を開始した。

このget講座は、学部学生から院生、教官、職員まであらゆる層の利用者を対象に、工学系文献の収集方法や図書館(室)の使い方などについて講演形式で解説したものである。この講座を行うことにより、「今図書館(室)で何がどこまでできるのか、どこまで応えることができるのかを利用者に広報する」「利用者にどんな人が工学部等の図書室で働いているのかを知ってもらう」「図書職員がマイクを持ち、人前で話す経験をする。また各図書室で行っているオリエンテーションに役立てる」ことを目的として取り組んだ。

利用者が何を求めているのか、実際にカウンターで応対していても実に様々である。1回生対象なら、14ある工学部等図書室の場所や京大

のOPACの使い方からはじまり、院生対象になるとそれぞれの専門分野でよく使用するデータベースの検索の仕方・コツなど、ある程度対象を絞れば講座の内容も自ずから決まってくるように思う。が、今回はあえてget講座全体としての対象を絞らないことにした。工学系情報の文献収集法を中心に、その他多岐にわたる項目について、担当者が1項目あたり10分から20分程度概説を説明する方針にした。各項目の時間の少なさおよび広く浅く紹介する内容については、図書事務連絡会議でも意見が出て議論された所であった。議論を重ねる中で私たちは、情報探索方法を広く紹介することが始まりであり、当然予想される内容の詳細を知りたいという要求や出てくる疑問に対しては、get講座後のおおのの図書室での実際のサービスでカバーしていく事を確認し合った。いわばイベントとしてだけget講座を位置づけるのではなく、通常行っている私たち図書室のサービスの一環に、このget講座を取り込もうとする考え方から出発している。

実際のget講座のプログラム内容は、工学部の図書館事情、電子ジャーナルの利用、学位論文や特許資料の探し方など工学系利用者の興味を引きそうな内容、図書館(室)利用の初心者から院生教官にも役に立つ幅広い内容をそろ

え、2項目お二人の工学研究科教官を講師として招いた他は企画・冊子資料作成・講演等すべてを図書職員が主体的に行った。

また、あらかじめget講座への質問・要望等を掘り起こし、当日に反映させることも目的とした。

図書室から研究室に発信する広報ルートだけでは、学部学生への広報は不十分であると言わ

ざる得ない。私たちが一番get講座に参加してもらいたいと思っていた「いままで図書館（室）を利用したことがない学部学生さん」については、図書室にポスターを貼っても、見る機会がないのではないかと思われた。この層への広報をどうするかは一番頭を悩ませたが、get講座前2週間程度、学部の1・2・3回生が参加する授業の開始前・終了後を狙い、get講座各項目の紹介文を書いた文献収集講座ニュース誌を配布することにした。それに加え、get講座当日の昼休みには、本部生協食堂出入り口付近で食事をしにきた方々に案内を配布した。

3. 講座当日の様子・参加者の反応
広報活動が順調だったことと、会場の工学部8号館共同第2講義室は、工学部等の構成員にはよく知られており、生協食堂の上という立地条件も味方して、get講座当日

2. 当日までの準備

当日までの準備で、一番力を入れたことは、get講座の広報・PRであった。今回のような試みは工学部でははじめてでもあったことから、掛長を含む職員3人で企画メンバーを作り、準備・広報・調整を主に担当した。ポスター、ホームページでの宣伝の他「文献収集講座ニュース誌」を開催前4回発行し、掲示プラス各図書室から研究室へ配布し閲覧してもらうなど周知に力を入れた。この文献収集講座ニュース誌はPRだけでなく読み物としても成り立つよう教官にも原稿を書いて頂き興味を引くことを心がけた。

は2日とも100名以上、延べ約250人の参加者が集まり、あらかじめ用意した資料冊子が足りなくなるといううれしい誤算も起こった。8割方埋まっている席からの熱気もあり、10月とは思えないほど会場は暑く、参加者の図書館（室）や文献情報収集に対する感心の高さが伺えたように思う。

講演する職員はそれぞれ事前リハーサルを経て本番のマイクを手にしたが、大きなトラブルもなくget講座は終了した。配布された冊子には、アンケート用紙を挟んでおり、終了後集計し、分析等ができるようにした。アンケート用

平成11年度工学部文献収集講座

工学情報をgetしよう

開催日 (2回実施いたします。両日とも同じ内容です。)
10月 5日(火) 10月12日(火)
会場 : 工学部8号館2階共同第2講義室

★プログラム★		★開催時間★	
挨拶 吉田副学長・図書室長・工学研究科図書委員長		午後	1:00-1:05
工学部の図書室事情			1:05-1:20
図書・雑誌を探す			1:20-1:40
インターネット情報の活用			1:40-1:55
電子ジャーナルの利用			1:55-2:15
雑誌論文を探す			2:15-2:30
イギリスの図書館サービス (休憩)			2:30-2:45 2:45-3:00
Chemical Abstractsを使いこなす 本谷島田教授(合成・生物化学)			3:00-3:30
学位論文を探す			3:30-3:40
レポートを探す			3:40-3:50
特許資料を探す			3:50-4:00
新聞記事を探す			4:00-4:10
CD-ROMサーバーで提供されている資料の 紹介と使い方			4:10-4:25
私の文献収集法 吉田工学研究科図書委員長(分子工学)			4:25-4:45
終わりに 図書事務部長			4:45-4:50

主催：工学部等図書事務連絡会議

紙には、質問があれば各図書室あるいはget講座後の文献収集講座ニュース誌等で責任を持って回答する旨記して、図書室側の姿勢を利用者にアピールするようつとめた。

4. アンケートから浮かび上がってきたこと

アンケートの回収数は延べ100あまり、回収率はまずまずだった。参加者が今回のget講座をどのようにとらえたか、アンケートからも浮かび上がっている。内容については、おおむね良い評価が多かったようである。資料の冊子も、get講座終了後も各図書室においてもらいたいなどの要望がたくさんあった。この冊子は今後改訂を行い、来年度の学部、各専攻の新入生オリエンテーションで配布する予定になっている。

しかし、その反面相当数の批判意見も頂いた。その中には、次回行うとしたらすぐに検討改善が可能なものから、内容・難易度についての意見では、利用者の数だけ要求があるといっても過言ではないという印象を受けたものもある。また、今回のような講演形式ではなく、小人数の演習方式を望む声も少なからずあり、それこそ通常私たちが行っている業務の中でフォローしていかなければならないものもあるのではないかと考えた。

また、頂いたアンケート中の質問については、内容によりget講座終了後発行した文献収集講

座ニュース誌に回答を掲載したり、担当図書室職員が個別に質問者に連絡し回答を行った。

5. 終わりに

なにぶん工学部・情報学研究科・エネルギー科学研究科では、はじめての試みで戸惑うことも多々あった反面、前例にとらわれず文献収集講座ニュース誌の発行やビラ配りなど、試みることができた。普段図書室を利用している層以外の層にも図書館(室)というものの存在や、私たちが行っているサービスをアピールできたのではないかなと思う。私はこの4月から開室したエネルギー科学研究科の図書室で業務を行っているが、ここでは実に多岐にわたる分野の情報を駆使し、複合的領域の研究を行っている。が、カウンターで対応している限りでは修士くらいまでの学生ならば、個人で意欲的に取り組まない限り、新しい情報収集法などがあまり伝わっていないことも感じていた。メールで新しいサービスの情報を流しても、利用者の記憶にはあまり残らないことも多い。また疑問を持っている利用者が全て直接職員に聞いてもらえるとは限らない。その意味で今回の文献収集講座は、私自身、手薄になりがちな分野のサービスを補う意味で、とても良い機会だったように思うのである。

(ゆもとけいこ、えがみとしのり、じどうさよこ)

新入生オリエンテーションのご案内

今年ももうじき桜咲く華やかな季節を迎えます。キャンパスにもフレッシュな新入生を迎え、新たな1年がスタートしようとしています。さて、毎年恒例となりました新入生オリエンテーションを下記の日程で開催します。図書館の建物内の設備や利用の仕方をお知らせし、キャンパスライフにおおいに活用していただきたいと願っております。同じ内容で5回開催しますので、都合のよい日にご参加ください。

日時：4月24日(月)～28日(金)12:10～12:45

場所：附属図書館3階AVホール

内容：1.附属図書館のサービスと設備のご案内

2. カード目録とOPAC*について

オプション

希望される方に、終了後約15分ほど1階のOPAC端末で実習を行います。

*OPAC：学内所蔵の図書や雑誌を検索するシステム